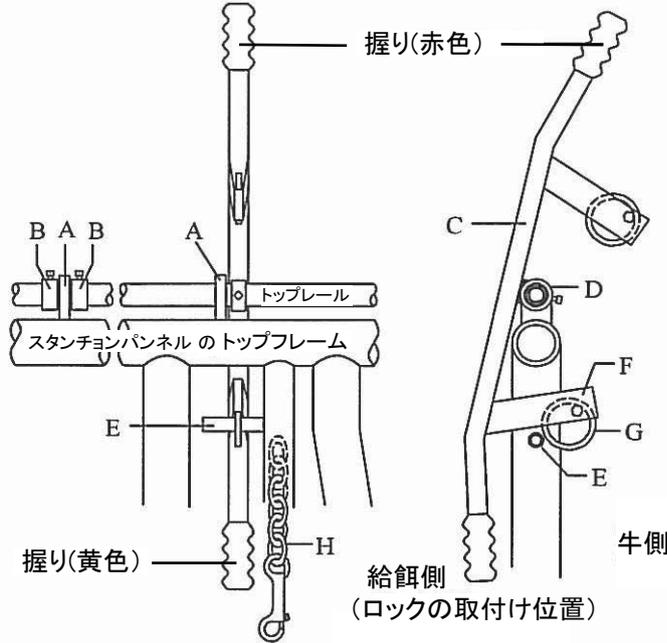


ミニ ハンドル 設置方法



- A. トップレール アイガイド
- B. セットスクリュー カラー
- C. ハンドル本体
- D. ハンドル アジャストメント カラー
- E. 1/2" スタブ管
- F. リングロック アーム
- G. リングロック
- H. セーフティ チェーン

1. ハンドルを取付けるスタンションパネルを選びます。取付け場所は、最初のパネルでも真ん中でも構いません。但し、ハンドル1つでコントロールできるのは100頭未満、すなわち首穴（オープニング）100個未満です。
2. スタションパネルのトップフレームには、オープニングとオープニングの間にアイガイド(A)が付いています。取付け場所を選んだパネル上でトップレールをスライドさせて、最初のアイガイドから次のアイガイドのところまで抜き、図のように2つ目のアイガイドの両側にセットスクリューカラー(B)を1個づつ入れてトップレールに付けます。
3. さらにトップレールを最初のアイガイドまでスライドさせ、ハンドル上の“アジャストメントカラー”(D)に差し込んでください。このときハンドルは給餌側になるように、また赤色の握りが上になるようにします。トップレールの端がパネルの末端と同一平面になるように、トップレールをぎりぎりまでスライドさせます。
4. 2つ目のアイガイドに付けたセットスクリューカラー(B)は両側からアイガイドをしっかり挟みます。但し、まだネジは締めません。
5. 赤色のグリップ（握り）を上にして、ハンドルを（1番目と2番目のオープニングの間にある）最初のアイガイドまでスライドさせます。1/2" パイプ(E)をリングロックアーム(F)の下で縦パイプ（図を参照）に仮溶接をします。但し、溶接をする前に、ハンドルが自在に動くスペースがあるか、またパイプ(E)の後ろでリング(G)がしっかりとロックできるかを必ず確認してください。
6. トップレールの設置手順です。トップレールには各オープニングに“V字形の刻み目”(ノッチ)が2か所付いています。トップレールは平行に保ち回しながらスライドさせて、ノッチが上に向くように設置します。最初のオープニングで上側が全開になるように可動パイプを斜めします（「パネルの設置方法」図を参照）。全開側に付いているフラップが最初のノッチの手前端（角度の鋭い側）にぴったり合うまでトップレールをスライドさせます。（但し、2つ目のノッチは塞がない）。2つ目のアイガイドの両側にセットスクリューカラー(B)をぴったり付けて、ネジをしっかり締めてください。斜めに位置（解除/アンロック）していた可動パイプを垂直の位置（施錠/ロック）に動かしたとき、フラップがノッチに均等に平たく配置されているかを確認してください。
7. ハンドルの取付け手順です。赤色の握りが上になるように、最初のアイガイドの隣りに設置します。リングロックを付け、ハンドルカラー(D)のネジをしっかり締めます。ハンドルを何回か動かしてみて、他の設備に何も支障がないことを確認してください。問題がなければ、ハンドルカラーをトップレールに溶接します。次にチェーンナップを図のように溶接します。チェーンナップはリングロックに留めることで安全装置となり、牛がハンドルを動かしてスタンションを解除してしまうアクシデントを防ぎます。
8. 手順6.と同様に、全てのトップレールを全パネルに設置します。各パネルの設置が済むごとに、トップレールの接続箇所を仮溶接してください。全パネルを仮溶接したら、ハンドルを施錠/ロック、解除/アンロックの位置に動かして全てのパネルで正常に作動するかを確認します。問題がなければ、全ての接続部分を完全溶接します。
9. ハンドルにはトップレールの両端を補強する為のパイプカラーが2個付いています。カラーをトップレールに装着し、十分なスペースがある箇所で溶接してください。